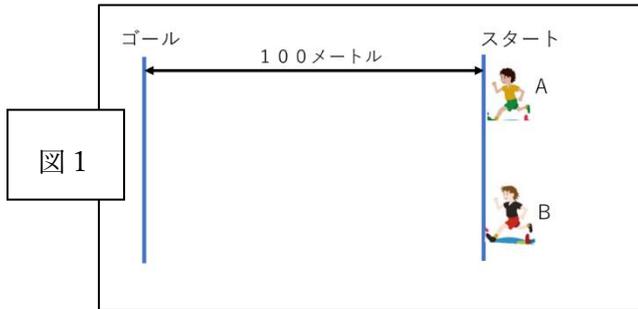


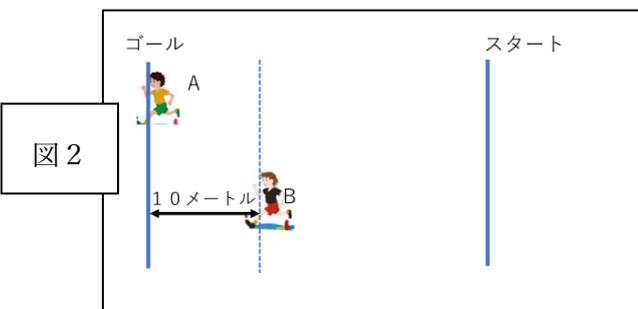
考えることは楽しい～逆転現象が生まれる課題～

校長 飯塚 進

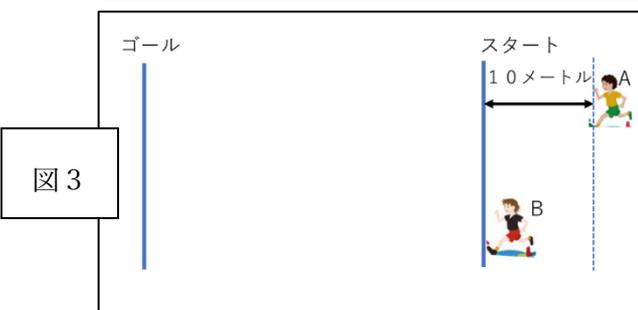
下の図のような問題があります。



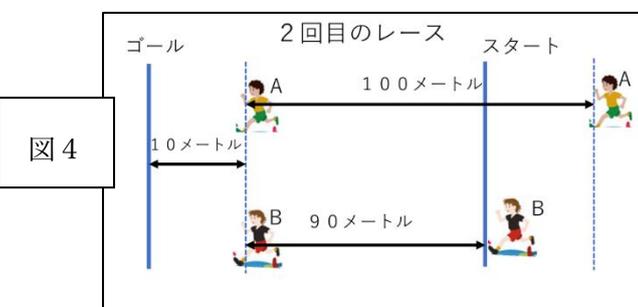
「AさんとBさんで100m競走をすることになりました。【図1】結果はAさんが勝ちました。【図2】



Aさんが言いました。『ぼくがゴールしたとき、Bさんはゴールまであと10mのところにいる。だから、今度は、ぼくが、Bさんより、スタートを10m後ろにするよ。』と言いました。【図3】



Bさんは『ありがとう』と言いました。そして2回目の100m競走をすることにしました。結果はどうなったでしょう。」という問題です。



子どもたちの多くは「引き分け（同時にゴール）」と言います。ところが実際はAさんが2回目も勝ってしまうという問題です。理由はAさんが100m走ったところで、90m走ったBさんと並びます。つまり残り10mあるので、足の速いAさんが勝ってしまうというわけです。【図4】

ほとんどの子どもが「引き分け」と言った中で、「Aさんが勝つ」と言った少数の子どもたちの喜びは格別です。自分と同じ考えの子どもが少数のため、不安に感じていた分、うれしい気持ちが膨らむようです。いわゆる逆転現象が生まれる課題です。

「考えることは楽しい」と、子どもたちにそう感じてもらえる授業を積み重ねていきたいと考えています。